



CIESF NEWS LETTER

2012 March 第9号

公益財団法人CIESFは、非営利で国際的な民間の支援団体です。基礎教育の質の向上を主な目的とし、その上で高度人材育成も行い、カンボジアをはじめとした途上国の発展を支援します。

【教育に関する格言⑨】

言葉で説教するよりも、あなたの生き方そのものがより良い説教となろう。

-ゴールドスミス(英:文学者)



CIESFをご支援くださった皆様、いつもありがとうございます。そしてこの3ヶ月スレーターを手にして下さった方々、出会ひに感謝します。今年はおリニックイヤーで1年が366日。素敵な毎日積み重ねられた。例年より少し得した気分になれましたね。CIESFスタッフは、皆さま毎日ありがたうの気持ちを持って仕事に精進したいと思っております。毎日オーケー！

カンボジアでのビジネススプランコンテスト、最終選考会終りました！

2012年1月28日にブノンペンにおいて第2回ビジネススプランコンテストの最終選考会と表彰式を行いました。このコンテストは将来のカンボジア経済をけん引する起業家育成を目的に2010年度から開催されています。例年100件近い応募があり、2回の選考を経て10チームが最終選考に残ります。今年も興味深いビジネススプランが多数ありました。

受賞チームのビジネススプランは、TPSTV、TVCMやドキュメンタリーの制作というプラン。テレビCMやドキュメンタリー、カプルの結婚前の記念ビデオを制作するビジネススプランです。プロ業者より安価に設定し、顧客対象となるのは個人、NGO、大学、中小企業等。これまでにブツイサッソトラ大学のCMビデオや、NGOのビデオを制作した経験があるそうです。大学のサークルのメンバーで構成されたチームなので、起業家になった際には、プロの映画監督のようなスタッフを約1、2年間雇用する予定でプロからスキルについて指導を受け、自分たちでできるように。なつたら制作は全て自分たちで行うという計画だそうです。これから楽しみです。



1位のチームへは賞金3000ドルが渡されました(写真左からCIESF大久保理事、労働訓練省ピッチ・ソーポアン長官、受賞チームの学生)

その他のチームのプランについては、CIESFのウェブサイトで紹介していますのでぜひご覧ください。

ビジネススプランコンテスト

スポンサーを募集します！

カンボジアやミャンマーで起業家を目指す若者を応援して下さる企業様を募集しています。年々盛り上がりを見せるコンテストです。ぜひ検討ください。スポンサーに関する詳細はCIESFのウェブサイトからご確認ください。トップページ左のバナーからもお入りいただけます。皆さまのご参加をお待ちしています！ぜひ一緒に盛り上げましょう。

法人サポーター・個人サポーター募集

CIESFの活動は、皆さまのご支援で成り立っています。法人と個人のサポーターを随時募集中です。詳細はウェブサイトにてご確認ください。

検索

カンボジアオフィススタッフが発信する「現地レポート」、教育アドバイザーの先生たちの日々の活動を綴った「教育アドバイザーの活動日誌」は、CIESFのウェブサイトで絶賛公開中です！



ビジネスプランコンテストについては2月20日の「現地レポート」に掲載しています。

ぜひ読んでみてください！ <http://www.ciesf.org>

寄付機能付きベンディングマシン等についての詳しい説明はCIESFのウェブサイト内の「ポータル」協力企業「団体」をご覧ください。

面矢忠彦先生 歌子先生、おかえりなさい

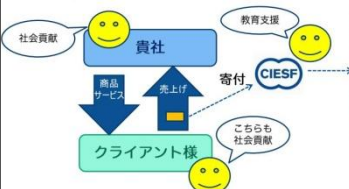
国境なき教師団の教育アドバイザーとして活躍された、面矢忠彦先生、歌子先生ご夫妻が任期を終えられて帰国しました。活動の場はブノンペンから西へ車で2時間半ほどのプレイベンという街の、小学校教員養成校。忠彦先生(71)は理科、歌子先生(65)は算数についてその教え方のアドバイザを行いました。言葉も文化も違うカンボジアで、2年に渡って現地の教師のレベルアップのための活動を行って下さった真の先生たちが教えた、真の

寄付機能付きベンディングマシン等についての詳しい説明はCIESFのウェブサイト内の「ポータル」協力企業「団体」をご覧ください。



ラーメン一杯から2月のカンボジア教育支援

CIESFの法人サポーターであるサムライスノードル株式会社様(東京都渋谷区)が、2月14日のリニョアルオープンに合わせて、渋谷のラーメン店「真武味弥」に、寄付機能付きの券売機を導入して下さいました。この券売機で購入したラーメン一杯あたり2円がカンボジアの教育支援への寄付となります。同社の奥村宗弘社長は、「カンボジアの子どもたちがよりよい教育を受けられるように自分ができることはしたい。それからカンボジアからの留学生にもぜひ食べに来てほしい」とおっしゃっていました。おいら、ラーメンの提供だけではなく、私たちの心にも、あなたたかもの心を手とてくれるそんな一言でした。ありがとうございます。



ありがとうございます

新たな発表

「国境なき教師団」の教育アドバイザーとして野口哲郎先生が、2012年3月5日に、カンボジアに旅立ちました。野口先生は、帰国した面矢歌子先生の活動を引き継ぎ、プレイベン小学校教員養成校で算数を指導します。野口先生、どうぞよろしくお願いいたします！



Facebook

おかげさまでもちまして、これまでに100人以上の方々が「いいね！」を押してくれました。より多くの方々が遊びに来てくれることを楽しみにしています。コメントなども残していただけただけなら嬉しいです。お返事100%を目指しています。<http://www.facebook.com/ciesf>「いいね！」をお願いします。

国境なき教師団

現在8名の日本人の先生が「国境なき教師団」の教育アドバイザーとしてブノンペンプレイベンの教員養成校で活躍されています。理科の基礎力が弱いとされているカンボジアでは、理科限定で支援を行っています。先生たちの活動は、着実に実を結びはじめています。これまで延べ13人の方が、カンボジアで活動しました。14人目の「国境なき教師団」現在募集中です。教師経験者の方、ぜひお力をお貸しください！



面矢先生ご夫妻には、CIESF大久保理事より感謝状が手渡されました。

発行:公益財団法人CIESF 日本事務局
〒107-0062
東京都港区南青山3-17-1 フロムファイブ302
Tel:03-6439-5990 Mail:info@ciesf.org

編集後記

早いもので、もう年度末を迎えました。これを書いているときは、雛祭り直前です。雛祭りといえば、子どもの頃、祖母が8段飾りの立派な雛人形を買ってくれました。最初は競って飾り付けていた姉妹も、年を重ねるごとに、飾り付けが面倒になり、3月が近づくと、「そろそろあの作業だ」と互いに押し付けあったものです。箱からポンと出せるタイプの方が結局良かったり。あ、でも、本当に立派だったので、誇らしかつたし、大事に飾りましたよ。で、大事に飾り過ぎて、4月3日まで片付けず、迷信か都市伝説かわかりませんが、この通りです。ところで今あの雛人形はどうなっているのだろう。母に問う。(Y.M)